

平成27年度
事業計画書

平成27年 4月 1日から
平成28年 3月31日まで

公益社団法人北海道家畜畜産物衛生指導協会

平成 27年度 事業推進方針

当協会は、平成24年4月1日に公益社団法人として新たにスタートし、今年度は、4年目を迎えますが、引き続き、事業運営の透明性を確保するなど、公益社団法人としての責務を果たしてまいります。

さて、国内では、平成 26 年度に熊本県などの6農場で高病原性鳥インフルエンザの発生がありましたが、各県の迅速、的確な防疫措置により継続発生することなく終息しました。しかしながら、隣国の韓国や台湾では、本病が依然として継続的に発生するとともに、韓国では、一旦終息した口蹄疫が、平成 26 年 12 月以降、発生が拡大傾向にあることから、国は水際防疫である動物検疫の強化や生産農場における侵入防止の徹底を図っているところです。

口蹄疫などの海外悪性伝染病は、発生国での終息が図られない限り、国内への侵入リスクは高い状況が続くことから、組織的な自衛防疫活動の一層の充実を図るとともに、生産農場や畜産関係者だけでなく、地域全体の理解と協力を含めた幅広い防疫に対する啓発活動が重要になると考えております。さらに、万が一の発生に備えた全道的な協力・支援体制の確立が急務であると考えておりますので、道をはじめ関係機関・団体と連携を図りながら、協会としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

平成 27 年度事業については、発生予防事業、家畜生産農場清浄化支援対策事業、死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業、家畜防疫互助事業、その他の受託事業を計画しております。発生予防事業ではメニューの増加、死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業では死亡牛の検査月齢の引き上げ(48 ヶ月齢以上)、家畜防疫互助事業では加入契約の更新などを予定しております。

事業の実施に当たりましては、生産農場、関係者の皆様のご理解を得ながら、各地区の自衛防疫組織と連携して円滑な推進を図るなど、道内における家畜衛生対策の向上と畜産経営の発展に貢献できるよう努めてまいります。

平成27年度 事業計画

1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次のとおり、予防接種を計画

(1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場清浄化支援対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

(2) 特定疾病発生予防事業(北海道衛指協事業:公益目的事業)

ア. 牛伝染性鼻気管炎(IBR)

イ. 牛4種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

オ. 牛6種混合(生)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

カ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

キ. 牛嫌気性菌3種、牛伝染性鼻気管炎同時

ク. 牛嫌気性菌3種、牛4種混合同時

ケ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合同時

コ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合(不)同時

サ. 牛嫌気性菌3種、牛6種混合(生)同時

シ. 牛嫌気性菌3種、牛6種混合同時

ス. 牛嫌気性菌3種

セ. 牛下痢5種混合(不)

ソ. ニューカッスル病(生)

タ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

チ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

ツ. 日本脳炎(馬)

テ. 馬インフルエンザ

ト. 破傷風(馬)

ナ. 馬鼻肺炎

ニ. 豚丹毒

ヌ. 豚流行性下痢(PED)

ネ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

(3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 日本脳炎(馬)

ウ. 馬インフルエンザ(競走馬)

(4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬鼻肺炎(軽種の繁殖牝馬)

イ. 馬インフルエンザ(農用馬、乗馬等)

平成27年度 発生予防事業計画集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	前年度計画(B)	前年度計画比 A/B
豚 丹 毒	117,200	118,400	99.0
豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚 流行性下痢(PED)混合	1,000	0	
ニ ュ ー カ ッ ス ル 病	143,000	142,000	100.7
牛 伝 染 性 鼻 気 管 炎	565,500	555,070	101.9
牛 嫌 気 性 菌 3 種	88,900	84,370	105.4
ア カ バ ネ 病	6,400	6,800	94.1
牛 下 痢 5 種 混 合	22,000	21,000	104.8
馬 3 種 混 合	24,300	25,200	96.4
日 本 脳 炎 (馬)	4,500	4,800	93.8
馬 インフルエンザ	12,300	12,500	98.4
馬 鼻 肺 炎	18,000	18,000	100.0
合 計	1,003,100	988,140	101.5

*馬3種混合、日本脳炎、馬インフルエンザは、育成馬等予防接種推進事業実施分を含む。

*馬鼻肺炎は、馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業実施分を含む。

*地区別の内訳は、別紙2のとおり。

2. 検査推進事業(農林水産省補助事業:公益目的事業)

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

ア. 疾病清浄化支援対策

- ・ ヨーネ病対策
自主検査、自主とう汰への助成等
- ・ オーエスキー病対策
種豚生産農場の出荷豚について抗体検査及び証明書の発行
- ・ 牛白血病対策
発生農場の検査や共同放牧場の検査及び吸血昆虫駆除対策への助成

イ. 疾病流行防止支援対策

- ・ アカバネ病の予防接種への助成

ウ. 農場飼養衛生管理強化対策

- ・ 獣医師等による農場飼養衛生管理向上のための指導への助成

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

48ヵ月齢以上の死亡牛を対象とする。(平成26年度までは、24ヵ月齢以上)

ア. 死亡牛検査処理安定化対策

- ・ 輸送費、化成処理経費等への助成

イ. 死亡牛検査(BSE)支援対策

- ・ 検査手数料の全額助成

3. 中央畜産会等委託事業 (収益事業等)

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業(日本中央競馬会・地方競馬全国協会補助事業)

ア. 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

イ. 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催

ウ. 地域馬獣医療実態調査の実施

(2) 家畜防疫互助基金支援事業(農畜産業振興機構補助事業)

ア. 家畜防疫互助制度の普及と推進会議の開催

イ. 生産者の事業参加の推進

(3) 育成馬等予防接種推進事業(日本中央競馬会・日本軽種馬協会・地方競馬全国協会補助事業)

ア. 馬防疫の普及・啓発

イ. 競走馬の日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ予防接種の実施

(4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(全国競馬・畜産振興会補助事業)

ア. 馬防疫の普及・啓発

イ. 軽種繁殖牝馬の馬鼻肺炎予防接種の実施

ウ. 農用馬・乗馬等の馬インフルエンザ予防接種の実施

(5) 組織強化対策事業

- ア. 衛生体制強化基金事業(中央畜産会助成事業)
自衛防疫に関する情報の収集と提供
- イ. 農場HACCP認証普及推進事業(全国競馬・畜産振興会補助事業)
農場HACCP認証取得のための指導及び調査
- ウ. 地域自衛防疫強化特別対策事業(全国競馬・畜産振興会補助事業)
自主防疫向上対策会議の開催
モデル農場における牛白血病拡大防止対策の実施
生産段階における防疫演習の実施

4. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業（公益目的事業）

- (1) 自衛防疫強化総合対策事業
全道、地区における防疫会議の開催、広報誌等の発行
- (2) 講習会事業
 - ア. 家畜衛生技術普及講習会の開催
 - イ. 畜産農家対象の講習会の開催
- (3) 家畜衛生対策事業
関係機関との連携強化並びに情報交換、情報収集等

5. 家畜衛生関係団体への協力

家畜衛生に関する団体について事務局を担当し、事業活動に協力

- 1) 鶏病研究会 北海道支部
- 2) 北海道オーエスキー病侵入防止対策協議会
- 3) 北海道牛削蹄師会